

# 横浜の動物園、質的向上を

横浜市会議員やまうら英太

## 収支は赤字続き

横浜市議会第4回定例会

にて、指定管理者（民間運営委託）の業務契約更新が議決されました。

横浜市は指定管理者の契約を、原則「公募」「指定期間5年」を標準とし、極めて高度な専門性を有する

場合等については、「公募」や「指定期間10年」も認めるとしています。

理解できませんが、動物園の収支は赤字続きです。

指定管理者を選定することになります。しかし、非公募により長期の指定期間で選定した場合は、競争にさらされることなく、様々なサービスも低下する可能性があります。現在の指定管理者が次回の選定を意識し、ある種の緊張感を持った施設経営を行うためにも、複数の申請者の事業計画と比較できる公募を実施していくことが必要です。

市内の動物園は、教育施設とも位置付けられているため、「誰にでも利用できるように」と入園料は無料か低料金に設定され、園内のフードコートやお土産店の運営も競争性がなく、赤字が前提の運営構造になり、横浜市から22億円もの補助金が投入されているのが現状です。

その中で、今回契約期間満了に伴い、横浜市の動物園3園の指定管理者の指定を行うにあたり、10年契約かつ公募での選定となり

ました。繁殖や飼育には長期的な取り組みが必要なのは

指定管理者制度は、公募が求められ、非公募のいづれかによつ

かつ非公募での選定となり

ました。繁殖や飼育には長期的な取り組みが必要なのは

指定管理者制度は、公募が求められ、非公募のいづれかによつ

## 制度の見直しを

指定管理者制度は、公募が求められ、非公募のいづれかによつ



やまうら 英太

（略歴）

- ◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グローバル経営大学院修了、関二トリ
- ◆横浜市認定保育園園長 ◆衆議院議員秘書
- ◆2015年 横浜市会議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7  
045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

指定管理者制度は、公募が求められ、非公募のいづれかによつ